

会 議 録

会議の名称	平成 27 年度 飯塚市環境審議会(第 1 回)
開催日時	平成 27 年 8 月 26 日(水)14:00~15:45
開催場所	飯塚市役所 本庁 2 階 201・202 会議室
出席委員	依田委員、石橋委員、八尋委員、衛藤委員、石橋喜委員、上田委員、梅野委員、吉柳委員、後藤委員、野見山委員、岡松委員
欠席委員	坂田委員、熊井委員、城丸委員、梅沢委員
事務局職員	大草部長、吉原次長、大久保課長、福田課長補佐、瀬尾係長、野口
会議内容	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1)平成 26 年度環境基本計画年次報告について</p> <p>(2)平成 26 年度環境基本計画の事務事業実施状況について</p> <p>事務局から第 2 次飯塚市環境基本計画及び議題(1)(2)について説明後、質問委員ごとに対する回答</p> <p>○質問-回答</p> <p>●緑のカーテンエコプロジェクトでゴーヤを選択した理由は？他の植物（アサガオ等）も検討しては。</p> <p>→つる性の植物で生命力が強いことからゴーヤを選択しており、植え付け後は、アサガオ等の種もまいています。植え付け会ではゴーヤの苗のみを配布しておりますので、今後、他の植物についても検討していきます。</p> <p>●菜の花プロジェクト：廃食用油を回収し、バイオディーゼル燃料にすることが遠賀川の水質が向上する理由は。</p> <p>→河川への生活排水の流れ込み抑制へのアプローチとして菜の花プロジェクトを推進することで、将来を担う子どもたちへの意識付け及びその親御さんへの情報発信が水質向上への第一歩と考えています。</p> <p>●花いっぱい推進事業の拡大：飯塚市市民広場（遠賀川中ノ島）において、植栽後の維持管理（水まき等）は誰が実施するのか。</p> <p>→都市計画課が維持管理（水まきや草刈り等）を実施しています。</p> <p>●ごみの減量化について、全国における減量化対策の調査及びその結果をお願いしたい。</p> <p>→類似する調査等がないため、調査について、今後検討したいと思えます。</p> <p>●分別を行ってすでに相当の年数が経過したが、まだ分別が不十分な原因についての調査を行い、その対策を講ずることが必要だと思うが。</p>

- 分別に関しては、ごみの分別方法の冊子等の配布を行い、回収時に確認した違反ごみには違反シールを張り、回収しないことにより排出者に周知しています。また、新規の集合住宅や団地等と違反件数が多いと思われる地域には、別途チラシの配布を行い周知に努めていますが、未だ、分別できていないごみも散見することから、今後も、分別の冊子、違反シール、戸別配布のチラシ等により周知を図っていきます。
- 分別の徹底について、幼稚園、小中学校での教育を実施しては、
 - 教育委員会や保育所と協議し、取組めることから順次取組みたいと思います。
 - 水質汚濁は、昔と比べ生活環境の変化に伴う生活用水の排出及び河川水量の減少によることが主な原因と思われます。今後は更に有効な対策を国や県と一体となって取組む必要があると思うが、
 - 汚水処理人口普及率は増加しているものの、まだまだ水質改善に向けての施策が必要です。河川水量の減少については、森林の保水機能や都市農村での保水力向上が必要であり、国、県及び市の総合的施策が必要となります。
 - 森や川の保全に関する取組みは、将来の大きな課題と思われます。そのため、国や県と一体となって取組む必要があると思うが、その方策を検討すべきと考えます。
 - 森や川の保全は、その周辺及び流域の市町村全体の問題であり、本市だけの問題ではないと考えますので、国や県と相互協力のう え、方策を検討していきます。
 - 在来種の減少は、河川の治水対策を中心としたコンクリートの護岸、生活排水による水質の変化及び河川水量の減少等の環境の変化によって生態系が変化したと思われます。現在生息している在来種をいかに守っていくかの対策も必要と思われます。
 - 在来種を保存するための保全措置を実施するためにも、まずは、自然観察会などを通じて、在来種がどの程度生息しているかなどの情報発信を行い、在来種の保全意識の啓発を行うことが必要であると考えております。また、今後の取組については、国、県及び専門家と連携し在来種保全の取組を進めていきます。
 - 緑のカーテン事業については、是非支所や各公民館での実施と広げていただきたい。
 - 年次報告書の記載以外にも、各公民館や公立保育所等で実施しています。今後、更に実施を拡大できるよう検討します。
 - 市民の環境意識の向上：意識改革については、環境保全活動の実践例等を地道な広報等で広く全市民に周知をしてもらうことも必要でないでしょうか。
 - 各種環境団体や本市の活動内容をホームページで情報発信していきます。また、エコスタでの活動展示及び市役所ロビー等での活動パネル展示をしています。

●実施状況表：自己評価の達成度、段階ごとの比率はどのくらいですか。

→

自己評価区分	件数	割合
1 未着手	16	10.5%
2 検討したが未着手	13	8.6%
3 50%未満達成	47	30.9%
4 50%以上達成	49	32.2%
5 100%達成	27	17.8%
計	152	100%

区分 1～3（未着手～50%未満）：50%

区分 4～5（50%以上～100%達成）：50%

●来年は、第2次基本計画5年目で中間見直しの時期ですが、未着手や100%達成の部分の取扱いは。

→年次報告書のフォームを変更し、現状と課題、実施状況を整理しやすくしています。達成状況等により整理をしたいと考えています。今後の重点項目等について、審議会でご協議をお願いしたいと思います。

●自己評価にある50%や100%などの数字は何を基準としているのですか。

→数値目標が設定されている場合は、その数値に対する達成度を示しています。また、数値目標の設定がない場合は、担当課の主観により達成度を示したものとなります。環境基本計画の事業及びその内容に対して、平成26年度の実施状況を照らし合わせ、担当課が自己評価したものです。

●自己評価は、「実施計画」に対しての評価なのですか。それとも目標（事業名）に対しての評価なのですか。

例えば、マイバック利用の促進という目標（事業名）がありますが、実施目標（ホームページ等に掲載し、啓発を行う）に対しての評価ならば、マイバック利用者が増えたかどうかは関係ないこととなります。他にも、実施計画の内容が「啓発を行う」、「指導を行う」という項目がいくつかありますが、その結果どうなったかを知りたいと思います。

→目標（事業名）及び内容に対しての評価となります。

基本計画：第4章 基本目標達成のための取組の中で示している「事業名と内容」を自己評価していますが、大きくは内容に示している具体的な取組を基に判断しているため、目標（事業名）の達成度とは若干そぐわないケースがある状況です。

●自治会に環境委員を設置しては。

→各自治会及びまちづくり協議会と協議・検討していきます。

●毎月5日の環境デーに全市一斉に清掃しては。

→市民一斉清掃日の実施については、基本計画の事務事業で設定しておりますが、全市的な統一行動には至っていません。環境デーを活用した取組としてあらゆる方向に情報発信していきます。

	<p>●バイオディーゼルの活用法が少なくなった理由は。 →平成 17 年度式のディーゼル車までは 100%バイオディーゼルで使用できますが、それ以降の年式の車両は 100%バイオディーゼルでは使用できません。また、混合率 5%の軽油などもあります。軽油取引税の問題もあり、使用することについて模索しています。また、車両不具合の多発やメンテナンス作業の増加等により、ゴミ収集車で活用も少なくなっている現状です。</p> <p>●マイバッグ運動を飯塚市の店舗等で実施している店や特典をつけているところがあれば教えてください。 →福岡県が実施しているマイバッグキャンペーンに参加している店舗（平成 26 年度実績）は、イオン穂波店、A コープ大分店、A プライス飯塚店、スーパーセンタートライアル上三緒店・飯塚店、丸和飯塚店です。レジ袋辞退者に対するポイント等付与の特典やレジ袋有料化などを実施しています。</p> <p>●竹炭化している団体への支援策の具体的な内容について →竹を伐採する際や竹炭化する際の参加者募集活動を広報支援し、その活動経過のチラシやできた竹炭を市役所窓口等で展示し、団体の活動内容の広報、支援をしています。</p> <p>●監視カメラ・不法投棄防止看板の設置した効果はあったのでしょうか。 →看板を 51 箇所、監視カメラ 18 台を設置したことにより、設置箇所については、設置前に比べ、不法投棄はほぼない状態となっております。</p> <p>●近隣他自治体でのゴミ分別の状況はどうなっているのでしょうか。 →近隣市（飯塚市除く）の状況では、9 種類以上で分別している市が 3 団体、6 種類以下で分別している市が 4 団体あります。なお、飯塚市は 7 種類に分別しています。</p> <p>(3)その他について 事務局から第 2 次飯塚市環境基本計画中間見直しについて説明。</p> <p>3 閉会</p>
会議資料	資料 1 平成 26 年度第 2 次飯塚市環境基本計画年次報告書 資料 2 第 2 次飯塚市環境基本計画事務事業一覧(平成 26 年度実施状況)
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 1 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者 0 人)
その他	